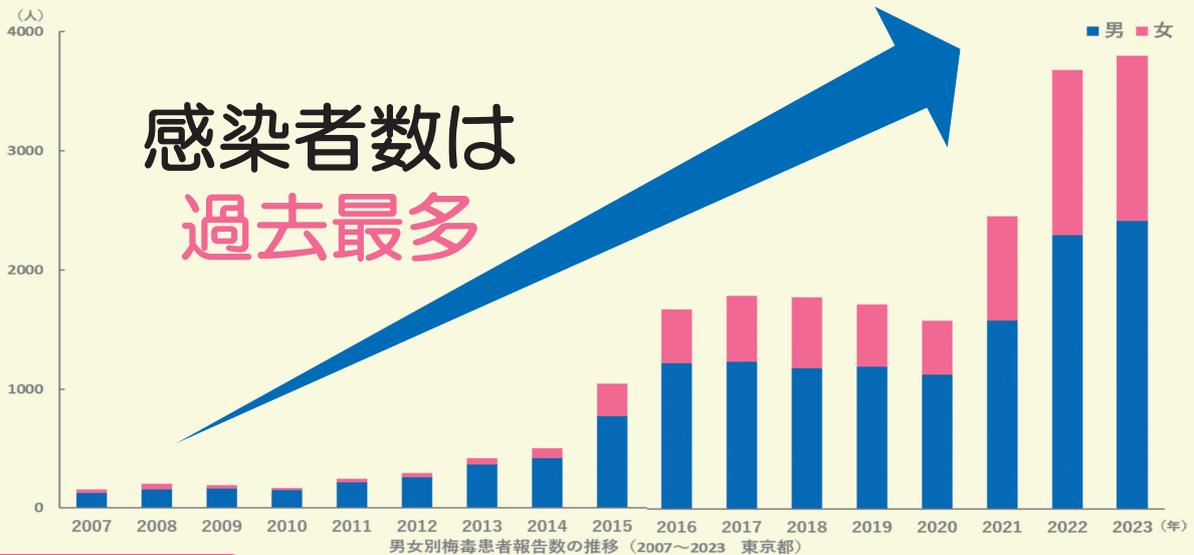


梅毒が急増しています！



梅毒とは？

梅毒は梅毒トレポネーマという細菌が感染することで起こる感染症です。性行為で粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。感染すると、性器や肛門、口にしこりができたり、全身に発疹（ほっしん）が現れたりしますが、一旦症状が消えるため治ったと間違われることがあり、発見が遅れる危険があります。

症状経過の一例

第一期

数週間で症状消失

性器・肛門・口などにしこりができる

第二期

症状消失するが静かに進行

手足や背中など全身に赤い発疹が現れる

晩期顕性

ゴムのような腫瘍が皮膚や筋肉、骨などに出現し、周囲の組織を破壊。脳や心臓にも影響を及ぼし重症化も

予防法は？ 正しくコンドームを使用することが有効です。

感染した部分と粘膜や皮膚が直接接触をしないように、コンドームを使用することは、感染予防には有効です。ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染が起こる可能性があるため、コンドームを使用しても、100%予防できるとは言えません。

検査を受けよう 梅毒は感染しても症状が出ない人がいます。

検査を受けないと感染したかどうか分かりません。
検査で早期発見し、早期治療を受けましょう。

保健所や検査・相談室で梅毒とHIVの検査を受けられます。

検査は 無料・匿名 です。

東京都 性感染症ナビ

検索

【この記事に関するお問合せ】保健対策課 感染症対策担当

